

未来創造人

九州支店
熊本合材製造所
はせがわ みや
長谷川 美弥

入社3年目にして熊本合材製造所の品質管理責任者として活躍している長谷川さん。アスファルト合材の配合設計を思い通りに組むことができた時が何よりもうれしいそうです。

大学では経営学を専攻していましたが、留学で訪れたロシアのウラジオストクの劣悪な道路環境を体験してインフラの重要性を痛感し、道路業界を志望。就職活動中に会った先輩社員に憧れ、鹿島道路へ入社しました。熊本合材製造所でいきなり品質管理の担当を任せられ、不安と



周りからサポートを得ながら

品質管理業務の“正解”を模索中

プレッシャーに悩まされた長谷川さん。それでも、分からないことはまず自分で調べ、その上で周囲に積極的に質問し、自分なりの正解を見つけていったのです。入社2年目に担当したNEXCO西日本高速道路工事に出荷する新合材設計で多くの関係者を統括する大役をこなしたことが自信になっています。

「うちのアスファルト合材で施工された道路を走っていると『未来を創造している』と実感できる」と目を輝かせます。最近はお客様からの指名で合材の問い合わせを受けるようになり、「どんな要望にも的確な提案で応えられるエキスパートになる」ことが今後の目標です。



きっと、未来に続く道

KIT PLUS

特集
舗装・土木を支える

プラント技術



特集

熊本合材製造所

舗装・土木を支える

プラント技術

鹿島道路では、道路などの舗装に用いるアスファルト合材を全国各地の合材製造所で資源循環にも配慮しながら製造し、社会インフラを支えています。今回はその1つである九州支店 熊本合材製造所をクローズアップ。プラントに課された役割を日々どのように果たしているかを、現場で活躍する若手社員の姿とともに紹介します。

Basic Data

九州支店
熊本合材製造所

設立: 1980年
事業所: 熊本県上益城郡嘉島町
上島2966

事業内容: 各種アスファルト合材の
製造販売 / 各種再生材
の製造販売 / 試験業務



九州支店 熊本合材製造所
品質管理責任者
はせがわ みや
長谷川 美弥

九州支店 熊本合材製造所
所長
かみむら ひろゆき
上村 博幸

→ What's アスファルト合材

アスファルト合材は、
①骨格を成す『骨材(砕石や砂)』、②骨材の隙間を埋める『フィラー(石粉)』、③それらを接着させる『アスファルト』などを配合した混合材料で、道路や駐車場の舗装などに用います。



新規合材: 骨材として新品の砕石や砂を混ぜる

再生合材: 使用済みのアスファルト舗装を破碎・分級して再生骨材とし、これに新しいアスファルトや新品の砕石などを加え加熱混合したもの

■ プラントの役割

多種多様にわたる設備を 運営する 少数精鋭のメンバー

鹿島道路では製品事業として全国の各支店に69カ所のプラントを設け、製品の生産・出荷を行っています。熊本合材製造所は九州支店の主幹事業所であり、所長を中心に、生産設備を運転・管理する機械社員4名、合材の配合設計・試験評価や材料の管理を行う品質管理社員2名、そして事務社員1名のメンバーで運営して

います。

プラント内には骨材を貯蔵するストックヤード、製造工程へ骨材を供給するホッパー、骨材を加熱・乾燥するドライヤ、加熱乾燥した骨材を上に乗ぶエレベーターと粒度別にふるい分けるスクリーン、そして配合設計のとおり計量した骨材・石粉・アスファルトを均一に混ぜ合わせるミキサなどの設備が完備。

熊本営業所からほど近い場所に位置し、運送に便利な道路網が発達している立地条件を生かし、民間企業を中心に得意先の

軒数が多いのが特長です。近年は国内外の半導体関連企業が九州に多く進出していることから、工場敷地内などのアスファルト舗装用の受注が増えています。

材料リサイクルによる 資源循環で 持続可能な社会へ貢献

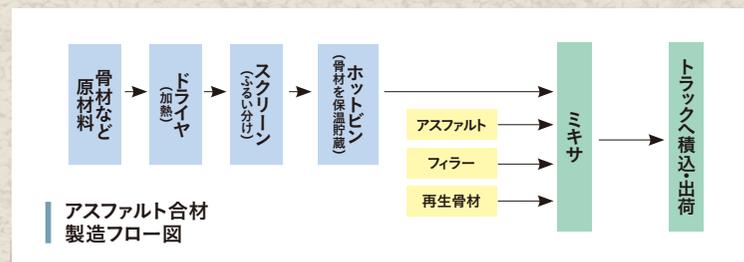
もう一つの特長は、建設廃材の中間処理施設「熊本リサイクルセンター」を同じ敷地内に併設していること。回収した使用済みアスファル

ト廃材を細かく破碎した後、プラントで合材の再生骨材として再利用。円滑な素材供給によって調達コストを抑えるとともに、資源循環としての持続可能な社会づくりにも貢献しています。

「私たちが大切にしているのは、

品質に優れた合材を安定的に生産・出荷し、お客様のニーズに確実に応えて信頼を得ること」と笑顔で語ってくれた上村所長。

その思いを今日も実践し、地域の重要な社会インフラの一翼を担っています。



1 2 再生合材の骨材となる、混合用の各材料
3 新規合材材料のストックヤード

The Technology

数字でみる
熊本合材
製造所
(2025年8月時点)

設立年数

創立 1980 年
45 年

製造能力

1 時間あたり
約 **60** トン
の合材を生産

生産比率

再生合材：新規合材
7:3

出荷圏内

近隣地区
約 **30** km
圏内
(製品の性質上、搬送時間が1時間以内の地域)

稼働時間

プラント 1 日平均
約 **4** 時間
稼働

自ら積極的に
情報を公開し、
情報共有の
重要性を伝えて
います

Our Leader

九州支店
熊本合材製造所 所長
かみむら ひろゆき
上村 博幸

■ インフラを支える人と技術

情報共有と コミュニケーション促進による、 働きやすい環境

熊本合材製造所では、アスファルト合材の品質確保のため、責任者である長谷川さんが日々厳しく製品をチェックしています。合材の配合設計書の作成や、材料の日常管理、生産した合材の密度やアスファルト量が設計書の規格値に収まっているかどうかの試験、さらにお客様の施工現場に足を運んで合材の状態に問題がないか確認をするなど多岐にわたる業務を、入

社2年目の加藤さんと分担して行っています。複数の業務を並行して行うのは大変ではあるものの、「プラント全体の流れを学ぶことができ、面白」と長谷川さんは前向きに取り組んでいます。

まだキャリアの浅い社員にとって、品質管理業務は日々勉強の連続。そこで、良いものを製造するという共通の目標を持つ九州支店工事部技術試験所が、現場を支援する部署として積極的にサポート。たとえば、3カ月に1回の頻度で合材製造所の品質パトロールを実施し、現場の従業員への積

極的な声掛けを通じて相談しやすい環境づくりを進めています。

また、従業員が業務の幅を広げたり互いにフォローできるように、上村所長が定期的に打ち合わせの場を設けて情報共有やコミュニケーションの促進を図っていることも、働きやすい環境づくりとして功を奏しています。分からないことがあれば周りにすぐ聞ける環境が整っていて、長谷川さんも「一緒に調べ、悩み、考えてくれる先輩方がいるおかげで、配属当初よりも成長できた」と実感しています。



合材を加熱し、アスファルトを締め固める温度の規定に収まっているかを試験中。

写真左から
九州支店
熊本合材製造所
品質管理責任者
はせがわ みや
長谷川 美弥

九州支店
熊本合材製造所
品質管理担当者
かとう いっこう
加藤 孝康

from 神戸
合材製造所

→ 設計通りの数値が出ると、
技術職としての手応えを感じる

関西支店 神戸合材製造所
おおよし まな
大吉 菜々



現在、品質管理として室内・現場での試験や書類作成を担当しています。

マーシャル試験で作成した試験体の結果が、設計された基準値と一致した時に、合材の面白さや奥深さを感じます。また現場で綺麗に施工された様子を見ると、大きな達成感があります。力仕事などでは周囲が気遣ってくれる場面もあり、女性でもやりがいを持って働ける環境です。これからもアスファルトプラントや品質管理についてもっと理解を深めたいと思います。

Message

→ 立派な技術者としての
今後の活躍に期待しています

九州支店 工事部次長 兼
技術試験所所長
たかはし じろう
高秋 二郎

長谷川さんは難しい場面でも、最後まで粘り強く答えを見つけ出し、業務を進める姿勢が印象に残っています。明るい性格と人柄のおかげか、周囲の方々から優しく丁寧に教えてもらいながら、しっかり成長しているように感じます。

今後は、試験業務にとどまらずさらに幅広い知識と技術を身に付け、立派な技術者としての活躍を期待しています。

アスファルト 合材試験

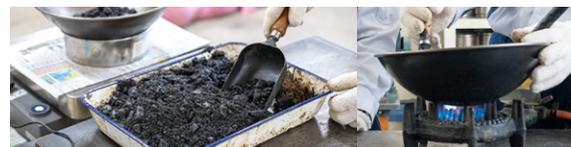
1. アスファルト含有量測定
遠心分離機で合材からアスファルトを抽出して測定



2. 骨材の粒度判定
網ふるいを用いて骨材の粒度が規定内かどうか判定



3. 合材の締め固め温度確認
合材を熱し、締め固める温度が規定内かどうか確認



4. 合材の密度試験
締め固めた合材の空中・水中質量を計量し密度を測定



■ 進化、そして未来へ

ひとりひとりの さらなる成長と活躍が 未来の道路を築く

熊本合材製造所は他の事業所と比べてもアットホームな職場で、従業員たちが日常的にそれぞれの業務領域を超えて協力し合いコミュニケーションを深め、理想的な信頼関係を築いています。今後は「誰がどんな情報を共有すべきか」といったルールを明確化し、組織全体の連携をより強化したいと考えています。

若手社員や女性社員の成長は目ざましいものがありますが、事業所が将来も発展していくには、彼らのさらなる成長と活躍が不可欠です。誰もが働きやすい環境をつくり、「熊本合材製造所で働きたい」と思ってもらえるような魅力ある事業所の実現を目指します。

そしてさらに大切なのは、鹿島道路への社会からの信頼を取り戻すこと。

品質の高い合材を提供することはもちろんのこと、お客様のご要望に正しく確実に応えていくことで、地道に信頼を積み重ねてまいります。



Message



品質へのこだわりが未来を創る

技術開発本部 技術部長 **田中 耕作** たなか こうさく

合材品質保証室は、鹿島道路が社会からの信頼を取り戻し、健全な経営体制を確立するため、新たに設置されました。ルールの確実な順守、コンプライアンス意識の徹底、そして品質へのこだわりは、持続可能な企業であり続けるために、今後ますます重要になります。

私たちは、新たな品質体制の構築に強い決意を持ち、製造から施工まで一体となって取り組んでいます。これからも「正しく、誠実に、丁寧に」という姿勢を大切に、信頼される鹿島道路を皆で目指していきましょう。



熊本で
道を知り、
道を創り、
道を守る。



01 「道路補修材3兄弟」*を実体験していただいたお客様とのコラボ研修会 全国に広がる販路へも期待

今年1月、岸和田土木事務所様のご依頼を受け、大阪府の泉南・泉北地区6市1町の維持修繕担当者向け研修会にて、道路補修材の紹介と実演を行いました。「道路の破損が繰り返し生じている」という課題に対応するため、現場ごとの状態に最適な補修材と作業方法をお伝えするべく、当社の「道路補修材3兄弟」を携え臨みました。

座学で製品や補修方法について解説した後、「北部水みらいセンター」のポットホールを使用した実演を行いました。内容は「カジマ クールミックスアクア」と「ハイパークールパッチ」で穴埋めを行い、その上から「PMR99+」を貼り付けるという作業でした。この実演を通じて、現場の状態や環境に応じて「道路補修材3兄弟」をどのように活用するかを体験いただきました。

研修会はお客様から高評価を頂き、2日間の日程を終えることができました。担当者は「実際に製品を使っていただくことで、カタログだけでは伝えきれない、作業時間の短縮や作業性といった製品の優れた特性を実感していただけたと思います。このような取り組みは非常に有効でした」と振り返ります。

これを機に、同様の企画を大阪府全域や国土交通省の国道事務所からも要望されており、今後は補修剤における当社の技術への期待が全国的な広がりを見せる展開となりそうです。



ハイパークールパッチ穴埋め実演



PMR99+ 貼り付け実演



座学の様子

*「道路補修材3兄弟」当社主力補修材
 ・カジマクールミックスアクア
 ・ハイパークールパッチ
 ・PMR99+



▶ 詳しくはこちら

✓ Voice

舗装補修材の施工(実地体験)を担当して



関西支店
 技術部技術試験所
 所長
 おおき たかし
大迫 太加志

できるだけ機械や人手をかけず、簡易な補修方法を体験いただけるよう、支店技術部と技術試験所で検討し実施しました。参加者の反応に不安もありましたが、実際には関心を持って積極的にご参加いただき、多くのご感想やご質問を頂戴しました。今後は他府県でも同様の研修会を実施し、製品をアピールする機会にしたいです。

試験施工を通じて商品をより身近に



関西支店営業部
 なかむらたまき
中村 環

今回は試験施工サポートを担当しました。当社の常温補修材の詳しい情報提供と、参加型の施工体験を行い、お客様にとって、商品を身近に感じてもらえる貴重な機会になったと思います。今後は補修材を窓口により顧客に沿った工法をご提案していきたいです。

実演の手応えを営業の現場へ



関西支店営業部
 担当課長
 なかやま ゆうすけ
中山 雄介

本研修会ではリーダーを任せ、関係各所をまとめる責任と難しさを感じつつも、2日間を無事に終え達成感を感じました。実演ではお客様にも体験いただきましたが、若手社員にとっても実践的な体験と知識を得られました。今後の営業や販路拡大に活かしたいと考えます。

02 技術営業課パンフレットリニューアル!

内容を一新し、デザインも刷新しました。より分かりやすく、親しみやすいパンフレットに仕上がっています。ぜひご覧ください。



外面



中面